

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

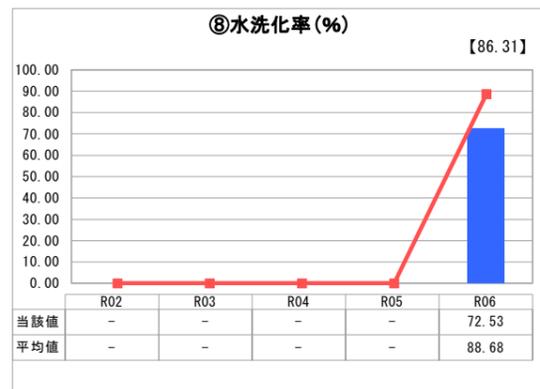
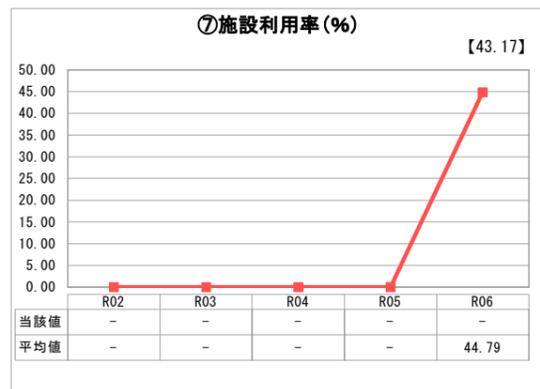
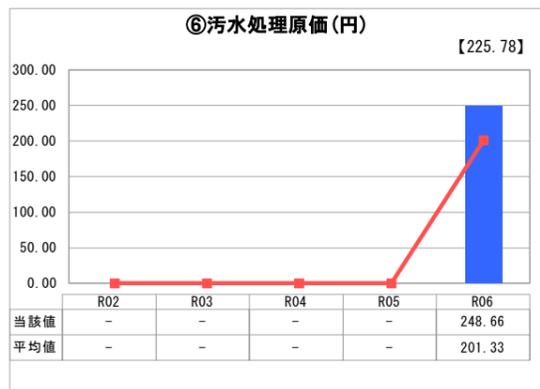
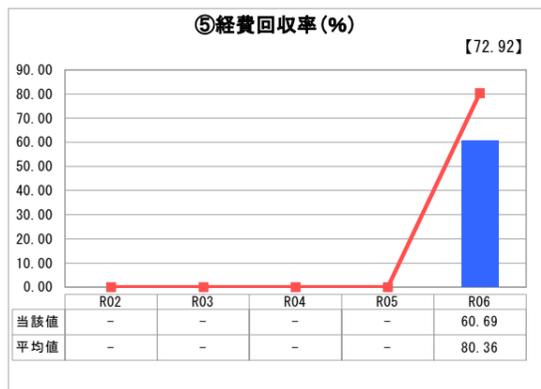
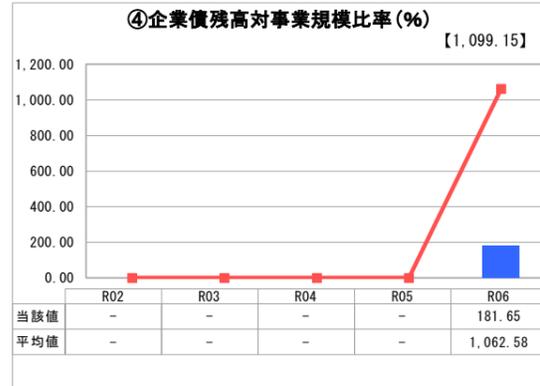
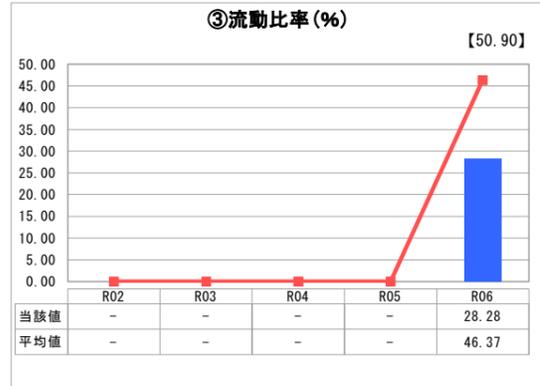
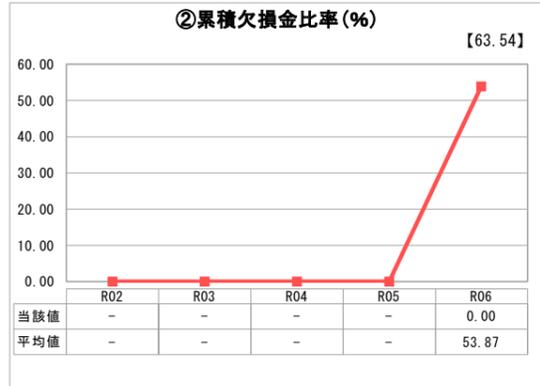
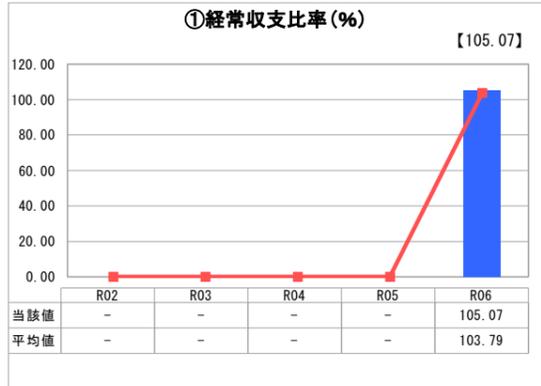
香川県 まんのう町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	65.49	15.47	82.69	2,497

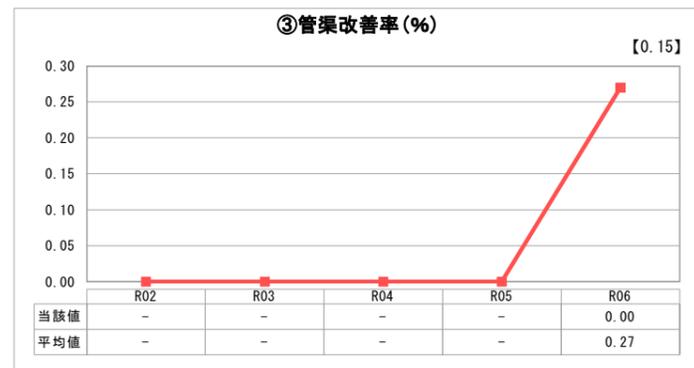
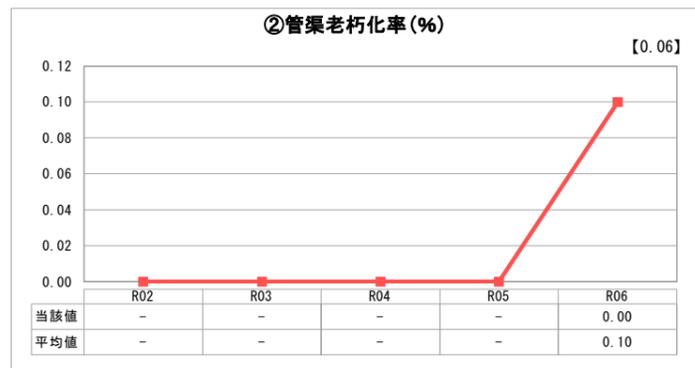
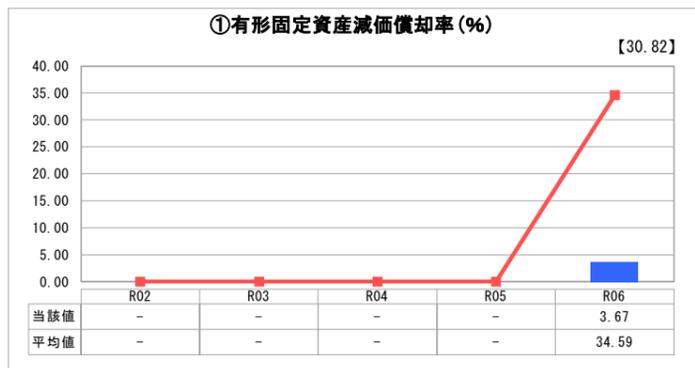
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
17,116	194.45	88.02
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,632	5.40	487.41

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は100%を超えているが、歳入を地方債（資本費平準化債）及び一般会計繰入金で賄っており、厳しい経営状況である。今後、人口の減少に伴い使用料収入が減少すると予想されるため、料金の改定等、収入を増やす取り組みが必要である。

累積欠損金比率は、発生していない。

流動比率は、平均と比較しても低い数値となっている。収入の多くを一般会計からの繰入に頼っており、収入増加の取組が必要である。

企業債残高対事業規模比率は、近隣市町と比較して低い数値となっている。これは、下水道が概成していることから、新規の施設整備を実施していないためと考えられる。今後は施設の修繕が増加する可能性があるため、注視していく必要がある。

経費回収率は、100%を下回っており、汚水処理費の削減は困難であることから、使用料収入増加の取組が必要である。

汚水処理原価は、概ね平均値となっており、今後も注視していく。

水洗化率は、近隣市町と比較しても低い数値となっている。下水道は概成しており、人口も減少傾向にあることから、施設整備以外の方法で対応をする必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、近隣市町と同程度の数値となっている。先行して下水道整備を行った自治体と比較すると低い値となっているが、供用開始から約30年経過していることもあり、老朽化の状態を注視していく必要がある。

管渠老朽化率・管渠改善率についても同様で、現状は問題ないものの、注視していく必要があると考えられる。

### 全体総括

本町の下水道は、供用開始から約30年が経過し、修繕の時期に入ってきていると感じている。これまでは、施設が比較的新しくあったこともあり、大きな修繕は少なかったが、今後は徐々に修繕費用が増えると考えられることから、経営はさらに厳しくなると予想される。

収入の面では、支出に対して収入が足りておらず、一般会計からの繰入によって経営している状態である。今後の支出増を踏まえて、収入改善の必要があると考えている。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。